

経営比較分析表（令和2年度決算）

岐阜県 郡上市

業務名	業種・事業名	管理者の情報	自己資本構成比率 (%)
法非適用	電気事業	非設置	該当数値なし
水力発電所数	ごみ発電所数	風力発電所数	太陽光発電所数
4	-	-	-
その他発電所数	料金契約終了年月日	FIT適用終了年月日	電力小売事業実施の有無
-	令和17年4月30日 石徹白清流発電所	令和17年4月30日 石徹白清流発電所	無
売電先	地産地消の見える化率 (%) ※1		
北陸電力、中部電力	-		

※1 行政区域内の需要家に小売されたことが客観的に明らかであるものを計上。なお、この基本情報をもって全ての地産地消エネルギーへの取り組みを評価するものではない。

年間発電電力量 (MWh)	H28	H29	H30	R01	R02
水力発電	336	376	790	951	1,351
ごみ発電	-	-	-	-	-
風力発電	-	-	-	-	-
太陽光発電	-	-	-	-	-
合計	336	376	790	951	1,351

年間電灯電力量収入 (千円)	FIT以外	FIT	合計
	-	45,952	45,952

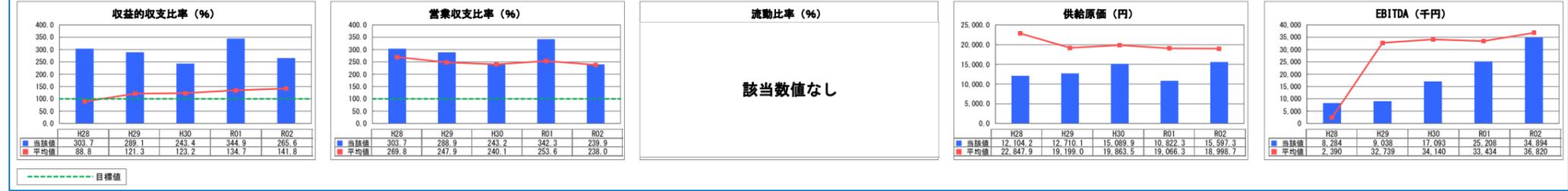
剰余金の使途について（具体的な使用実績事業を記入してください）

電気事業により生じた利益は、将来の施設更新に充てるための基金に積み立てることを基本としている。積み立てた後、なお残額がある場合には、一般会計、下水道事業会計に繰り出している。一般会計については土地改良事業、下水道事業会計については農業集落排水事業に活用することとしている。今後も事業運営に必要な財源を確保しつつ、土地改良事業等に係る負担軽減に努める方針としている。	12,330千円
基金への積立：（名称：小水力発電基金、目的：将来の施設更新に充てるため）	18,164千円
一般会計への繰り出し：（目的：土地改良事業に活用）	4,400千円
下水道事業会計への繰り出し：（目的：農業集落排水事業に活用）	-

分析欄

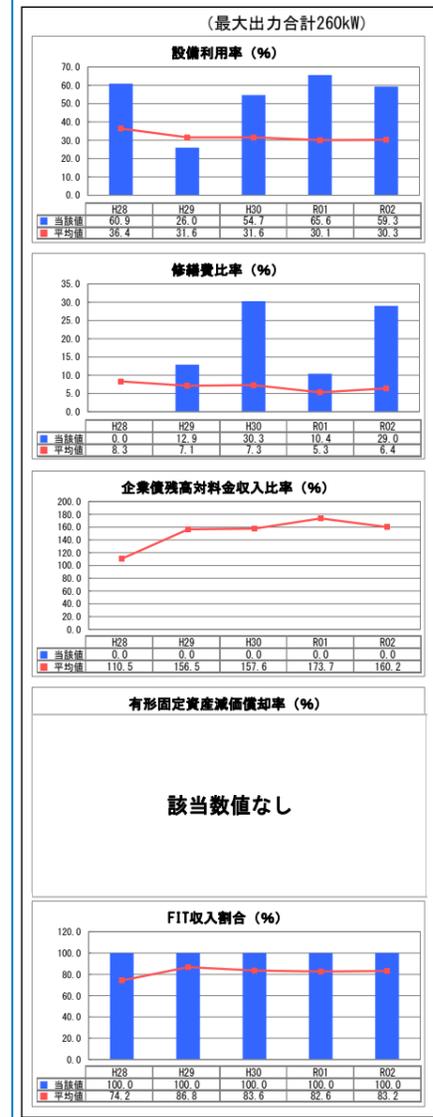
1. 経営の状況について
 収益的収支比率は265.6%で、目標値100%を上回っています。営業収支比率においても239.9%で、目標値100%を上回っています。供給原価は15,597.3円で、全国平均18,998.7円を下回っています。令和2年度において2箇所の施設が稼働を開始し計4箇所となり施設も新しいため、ほぼ予定した順調な事業状況であり、健全な経営状況であるといえます。

1. 経営の状況

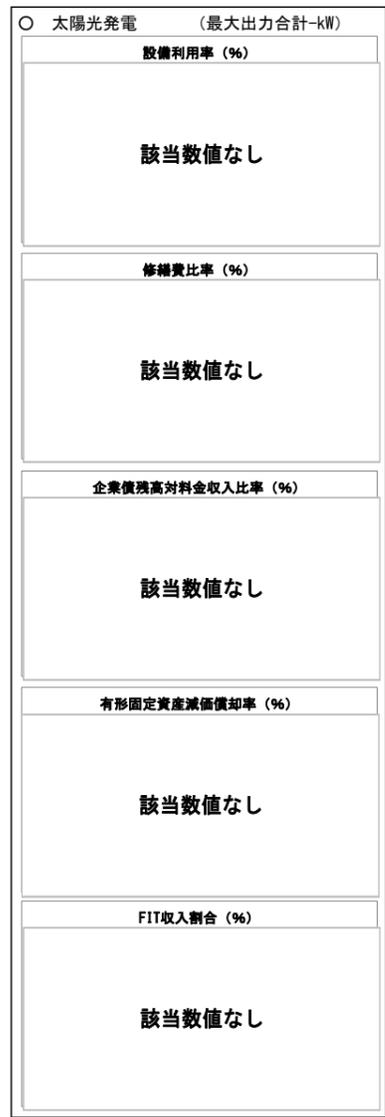
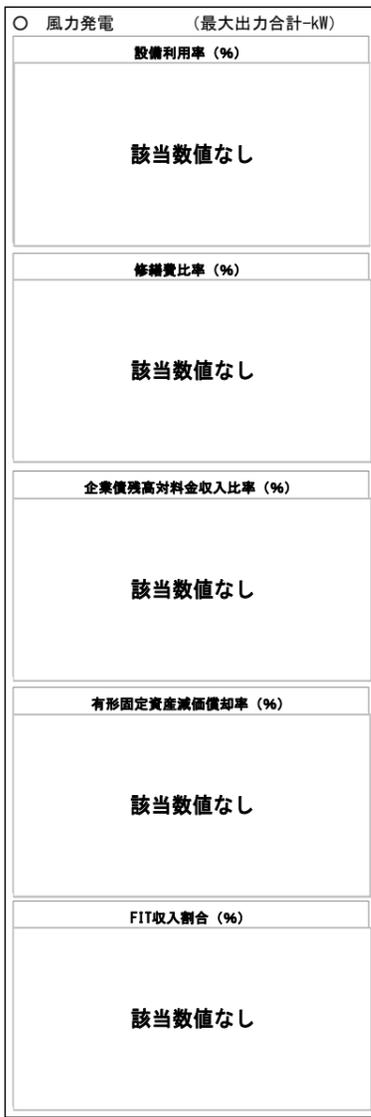
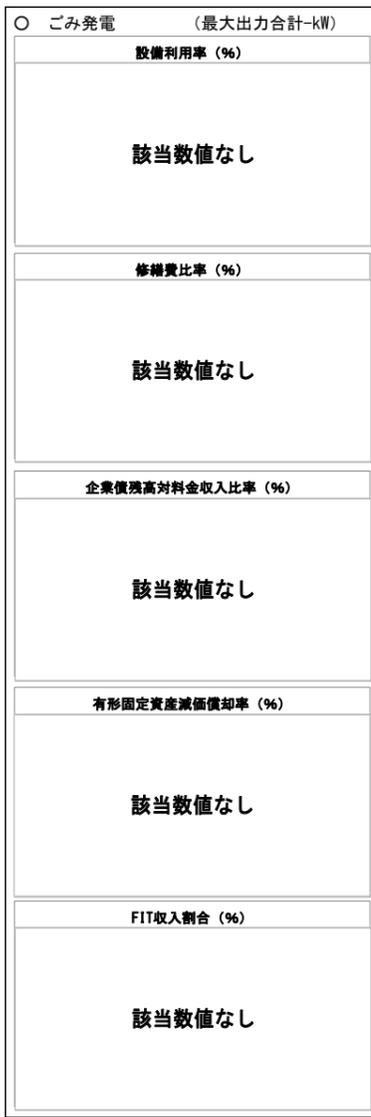
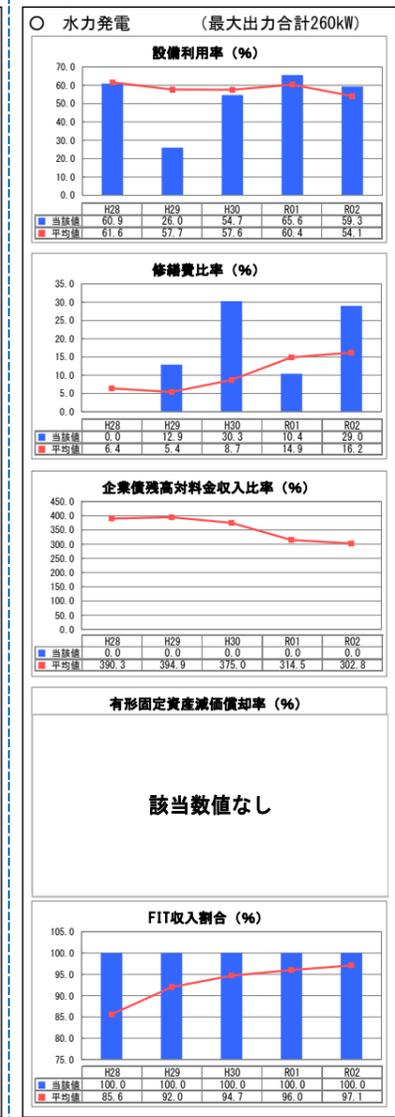


2. 経営のリスク

●施設全体



●発電型式別



2. 経営のリスクについて

設備利用率は59.3%で、発電型式水力発電の全国平均54.1%を上回っています。修繕費比率は29.0%で、発電型式水力発電の全国平均16.2%を上回りました。これは、5年目メンテナンス費用と災害等による修繕費が計上となったためで、今後も施設設備の適正な維持管理を行ってまいります。FIT収入割合は100%であり、固定価格買取制度の調達期間終了後、買取単価が下落することを想定し、これを踏まえた経営を行ってまいります。

全体総括

令和3年度に経営戦略を策定し、持続可能な再生可能エネルギーを長期的に調達するための効率的・効果的な施設設備の維持管理を行う他、修繕・更新計画に取り組めるよう基金積立を行ってまいります。

※ 平成28年度から令和2年度における各指標の全国平均値は、当時の団体数を基に算出していますが、設備利用率及び修繕費比率、企業債残高対料金収入比率、FIT収入割合については、令和2年度の団体数を基に平均値を算出しています。